

とっておきの新居浜検定 問 題 用 紙

(午後1時30分開始 制限時間60分)

第8回 中級

注 意 事 項

1. 解答用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用する。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。
3. 【 】にあてはまる語句を答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

平成29年8月20日(日)

新 居 浜 商 工 会 議 所

新居浜検定事業運営協議会

(問題1)

新居浜市は、南は東赤石山を主峰とする赤石山系、北は瀬戸内海の燧灘に面しており、市内唯一の離島には、市営の渡海船が運行されています。その市内唯一の島の名前を書いてください。

(問題2)

新居浜市は今年市制施行80周年を迎えますが、昭和12年の市制施行時に合併したのは、新居浜町、高津村ともう一つはどこでしょうか。

(問題3)

別子山地域に流れている「四国三郎」の異名がある一級河川・吉野川の支流となる川の名前を書いてください。

(問題4)

市の西部を流れる渦井川の上流にある市指定名勝で落差約30メートルの滝の名前を書いてください。

(問題5)

中筋町と角野新田町を結ぶ朱色の生子橋を起点とし、鹿森ダム、清滝を經由して、川又の時雨橋を終点とする、約10キロの渓谷景勝地は愛媛県の名勝に指定されています。この景勝地の名前を書いてください。

(問題6)

絢爛豪華な新居浜太鼓台は、昭和45年(1970)に開催された「大阪万国博覧会」のお祭り広場に出場しましたが、大江太鼓台と何処の太鼓台が出場しましたか。

(問題7)

川西地区で、五穀豊穰と大漁祈願を分けて隔年交代で行い、海神に詣でる年に行われる太鼓台の行事を書いてください。

(問題8)

太鼓台の飾り幕で、四本柱の下部にある4枚の幕の名前を書いてください。

(問題9)

太鼓台において、【 問題9 】は雲を表すとされています。

(問題10)

現在の飾り幕の刺繍は、【 問題10 】・御殿の幕・禽獣と御殿の幕・禽獣の幕の4分野に大別されます。

(問題1 1)

明治32年(1899)の別子大水害の発生した月日はいつでしょうか。

(問題1 2)

大山積神社は、最初に旧別子地区の縁起の端に建設されていましたが、明治26年(1893)には同地区の何処に移されましたか。

(問題1 3)

別子山中での製錬事業を新居浜側へ移転するとともに、別子鉱石が硫黄を多く含むという性質から湿式製錬に適するとして明治21年(1888)に完成した製錬所の名前を書いてください。

(問題1 4)

近代化により東平に集められた鉱石を黒石・端出場などへ運搬するために設置されたもので、生活物資や坑内で使用する資材を運ぶためにも使われていました。現在は、東平にレンガ造りの基地跡が残っています。この鉱石を運ぶ設備の名前を書いてください。

(問題1 5)

別子山中で製錬された粗銅を大阪へ送るための玄関口として、元禄15年(1702)に海の近くに口屋(浜宿)が開設されました。それまでは別子山中から土居を経由する約35キロメートルの道を利用していましたが、口屋の開設によって別子から口屋へ運べるようになり、運搬距離が短縮されました。その距離は約何キロメートルでしょうか。

(問題1 6)

上部鉄道は、明治【 問題1 6 】年に角石原から石ヶ山丈間5,532メートルが開通しました。

(問題1 7)

山根グラウンドは、昭和2年(1927)鷲尾勘解治の指揮のもと、住友各社の社員によって、禅の思想の言葉である【 問題1 7 】より完成し、住友各企業合同の運動会などに利用されていました。平成の現在も市民のオアシスとして親しまれています。

(問題1 8)

別子銅山の業場(採鉱の中心)が、別子から東平・端出場と山の下部へ移行するに従い、従業員社宅・鹿森社宅は大正5年(1916)に建設が始まり、翌年には270戸、全盛期には300戸・【 問題1 8 】人余りの人々が生活していました。

(問題19)

第四通洞の通洞口にある「第四通洞」の題字は、住友家15代家長・【問題19】の筆によるものです。

(問題20)

旧【問題20】水力発電所は、当時日本一の落差、約597メートルを利用した発電所として明治45年(1912)に建設されました。100年以上経過した現在もマイントピア別子の対岸に赤いレンガ造りの建物が現存しており、国の登録有形文化財として保存されています。

(問題21、問題22)

広瀬幸平は、別子銅山の近代化を推し進めるため、明治7年(1874)フランス人技師【問題21】を雇い入れました。彼は、約2年に亘って現地調査を行いながら、別子銅山の開発・再生のための計画書【問題22】を作成しました。これをもとに広瀬幸平は近代化を着々と進めていきました。

(問題23)

別子銅山の採鉱本部があった東平や別子山への生活道の橋梁として明治38年(1905)に建設され日本最古級の鉄橋ともいわれ、わが国で明治期に設置された鋼アーチ橋で現存するのは、この橋だけといわれています。平成17年(2005)に登録有形文化財となった、この橋の名前を書いてください。

(問題24)

昭和13年(1938)には、かご電車の運転が開始され、新居浜側と別子山側を結ぶ唯一の交通機関として一般の人が利用していました。では東平～日浦間は約何分で結ばれていましたか。

(問題25)

別子銅山で掘られた坑道の総延長は、約何キロメートルでしょうか。

(問題26)

多喜浜塩田では明治26年(1893)、国の商法施行に伴い塩田経営の合理化と近代化を進めるために愛媛県で最も早く塩田の会社が設立されました。この会社名を書いてください。

(問題27)

多喜浜塩田の開祖と言われる信濃国出身の深尾権太輔のお墓があるお寺の名前を書いてください。

(問題28)

入浜式塩田では、【 問題28 】という道具の中に塩を入れていました。

(問題29、問題30)

多喜浜塩田は、元禄16年(1703)深尾権太輔らにより着手され、その後享保8年(1723)、【 問題29 】らにより継承され、古浜・東浜・【 問題30 】・北浜・三喜浜の5浜が140年余の長きにわたり築造されました。総面積は240町歩余となり、日本有数の大塩田として地域の発展に寄与してきました。

(問題31、問題32)

アツケシソウは、北海道の厚岸の牡蠣島で発見されましたが、その後全国各所の【 問題31 】跡に分布していることが確認されました。塩田史とのかかわりが深いことから、昭和59年(1984)に【 問題32 】の天然記念物に指定されています。

(問題33)

多喜浜塩田は、江戸時代元禄の終わり頃から始まり、250年余り営々と塩づくりに携ってきた輝かしい歴史を持っていますが、昭和34年(1959)、国の政策によりその幕を降ろしました。この間、最も長く続いた製塩法は何といえますか。

(問題34)

多喜浜塩田開基である天野喜四郎元明翁の顕彰碑が、昭和45年(1970)に鷺尾勘解治の揮毫^{きごう}で、建立された場所は何処ですか。

(問題35)

黒島一番地にある加藤家では、塩釜の燃料を扱う【 問題35 】を営んでいました。

(問題36)

武徳殿は木造平屋建てで、内部には50畳敷規模の剣道場と柔道場が収まっています。昭和13年(1938)に初代新居浜市長と誰が寄付をして建てられたものでしょうか。

(問題37)

別子山地域の中核的観光施設である「森林公園ゆらぎの森」には、ドーム型藤棚としては日本最大級とされる直径【 問題37 】メートルの巨大パーゴラが設置されています。

(問題38)

マリナーパーク新居浜は四国最大級のマリナーとして、平成8年(1996)にオープンし、平成18年(2006)には四国初の【 問題38 】に認定されました。

(問題39、問題40)

かぶと踊りは、【 問題39 】校区に伝わる【 問題40 】の踊りで、リズムに合わせて腰を前かがみにして手足を動かし、それを繰り返す悠長な踊りであり、太鼓のみでリズムを取るのも特徴の一つです。

(問題41)

垣生の庄屋・高橋家の使用人が仕事に歌っているのを、領内巡視の為に通りかかった西条藩主が耳にされ、面白い歌であるとほめられました。おめでたい席で歌われ、宴たけなわになると歌詞を即興的に作詞して歌われたようです。この歌の名前を書いてください。

(問題42)

えびちくわは、瀬戸内海でとれる新鮮な小エビ、小魚の白身、【 問題42 】を混ぜて焼き上げたもので、新居浜の名物として知られています。

(問題43)

嫁年貢とは、【 問題43 】が大量にとれる春に行われる新居浜の風習です。

(問題44)

住友重機械エンジニアリングサービス(株)は、国内・海外の港や工場などで使用する運搬荷役機械等の搬送システムの設計・製造・据付けからアフターサービスまでを一貫して提供しています。中でも、1台あたり800トンの吊り上げ能力を有し、造船所において最も重要と言われる運搬設備の名前を書いてください。

(問題45)

大正11年(1922)に四阪島製錬所と新居浜を結ぶ全長約20.8キロメートルの海底ケーブルを敷設しましたが、現在この海底ケーブルを管理している会社名を書いてください。

(問題46)

正岡子規が詠んだ「童らの蟬さしに来る社かな」という句碑があり、国指定の天然記念物であるクスノキに囲まれた神社の名前を書いてください。

(問題47)

別子銅山記念館前にある住友吉左衛門友成の歌碑にあてはまる言葉を書いてください。

この【 問題47 】を神とし仰ぎ幾代かも 掘りつぎて来しことの畏こさ

(問題48)

立川山村に生まれ、立川英明小学校卒業後、小足谷尋常高等小学校に入学し卒業後、明治23年(1890)に立川住友分店に勤めました。その後、神戸製鋼所初代支配人となった人物の名前を書いてください。

(問題49)

新居郡中萩村松木(現松木)に生まれ苦学して日本画を学び、日本南画院を設立した人物の名前を書いてください。

(問題50)

官公庁の接待館として時の国鉄総裁・十河信二や俳人・河東碧梧桐などの有名人も数多く訪れた建物の名前を書いてください。